

神奈川山梨教会連合会より

かりん

「次に繋がる」

南清孝先生は、昭和二十六年七月十九日生まれ。高校を卒業後、川崎の造船会社で約五年勤められ、その後金光教学院に入られました。

昭和五十年に金光教教師の補命を受けられ、登戸教会で御用の側ら、関東教務所(現金光教東京センター)で四年半程教務にあたられました。

昭和六十二年、早稲田教会在籍教師の恵子先生とご結婚、一男一女をもうけられました。

平成九年、登戸教会四代教会長に就任。神奈川山梨連合会会長の御用にあたられた後、現在まで連合会副会長の御用にあたられています。

Q..信心の後継についてお聞かせ下さい。
南先生(以下..南)..日本の高齢化に合わせたように、金光教の信者さんの高齢化が進んでいます。しかし、信心の後継はなかなかうまくいきません。

登戸教会は教徒のご信者さんが多く、普段なかなかお参りされないご信者さんのご家族の方も、ご信者さんが亡くなられると金光教でご葬儀されるので、ご葬儀や御霊祭の際に、解りやすく金光教の話もさせてもらうようにと..なかなか難しいのですが。

Q..教徒の方が多いのですね。他教会では、信徒が多く、せつかく信心されていても、葬儀は仏式でとなり、



川でスベって山でコロんで...とってきました

Interview

第37回 登戸教会 南清孝先生

繋がりが切れてしまうことがある、という話をよく聞きます。

南..金光教式のご葬儀は、個人個人に祭詞を作成し、

とても丁寧でいいのですけどね。

前に、ある信者さんのご葬儀をさせて頂いた際、参列されていた信者さんのいところの方が、金光教の葬儀を見て感動されたようで、「私は仏教だけど、葬儀は金光教式で

お願いします」と遺言を遺されたのです。しばらくしてその方が亡くなられた後、遺言通りご葬儀をつかえさせていただきました。Q..どういことがきっかけになるか分かりますね。

南..金光教は葬儀だけでなく、素晴らしい信仰をもてる宗教だと思うのです。が、実際はなかなか伝わらないですね。

私たち教師がいかに関わりやすく伝えるかが、大事だと思いがけています。少しでもたくさんの人に信心を伝えられるよう、使命感をもって日々御用を勤めさせて頂きたいと思っています。

Q..しかしながら、金光教は各教会さまさまで、あまり統一されてないように感じます。他宗教など、その辺が統一されていて、みんな力を合わせて同じ方向を向いて後継や勧誘をうまく出来ているように感じるのですが。

南..そうですね、金光教は縛りが少なく自由ですが、その分各教会の個性が強くなるので、力を合わせて集会する、などと言うことが他宗教などと比べてあまり上手くないってないかもしれません。

神奈川山梨教会連合会で、色々な集会・イベントを催していますので、ぜひ参加していただき、横の繋がりが強くなればと思います。

○ありがとうございました。

(今村則子)

私は長らく金光教国際センターをはじめ教務の御用に当たってきたため、たいへん申し訳ないことでしたが、連合会の御用にはあまり参画せずに来ました。国際センターの御用を退きましたので、見習いから始めさせてもらうつもりでいたところ、図らずも副会長にご指名を頂き、みなさんに教えて頂きながら御用させて頂いています。

国際センターの御用を通して海外の信奉者や教会の状況に触れて、常に感じていたことは、海外には日本の教会・信奉者には理解できない「孤立感」「孤独感」があるということです。

ある時、国際センターにイギリスの片田舎に住む白人女性からEメールが届きました。真実の信仰を求める中で、金光教のホームページを見つけたということでした。やっと本当の神様に出会えた、神様が私を見つけてくださった、と感激したそうです。神様と出会った彼女の次の願いは、「金光教の信心をしている仲間会いたい」ということでした。

そして私たちがロンドンに出張した時、彼女は何時間もかけてロンドンに来て集会に参加しました。そして彼女はたいへん喜び、「祭典に参拝し、先生達と会い、信者さんと話をし、金光教は本物だと感じました」と言ってくれたのです。

連合会に思う 「信心する仲間がいる喜び」

副会長 山田信二

日本で信心している私たちは、実は恵まれているのです。教会があり、先生がおり、信心の仲間がいる。その上に他の教会もある。このことをもつと喜び、このメリットを生かしていかなければもつたないと思うのです。

私は、教会連合会は、仲間がいる喜びを感じ、励まし合って信心を進める力を得る場であってほしいと思います。

「みんなのつどい」や「地域交流会」など、楽しい活動に参加して仲間がいる喜びを感じることが出来る。「女性のつどい」や「講話と夕食の会」などで、信心をもとにした生き方を知り、意見交換して他の人の信心に触れることで、自分の信心がより豊かになる。「教師信徒共励会」などでは、信心の根底にある教義や教祖様の生き方を含めて、ちよつとまじめに信心を学ぶことができる。「教師会」や「ひいらぎの会」では、先生達が日頃の御用の課題を共有し、学びあい磨きあう。このような一つ一つの活動が、実は、それぞれの教会、個々の信心を支える力になる(なっている)のが、連合会の価値だと思ふのです。

一つの教会ではできない活動を通して、教師信徒が高めあって、ひいては信心を世と人に伝えていく連合会の働きを現しきましよう。

かりんの輪

「気になる派？ 気にならない派？」

子安教会 村田教子

サラリーマンの楽しみと言えば、そう！ランチタイムです。サラリーウーマン、いや、OLの私も、ご多分に漏れず、毎日、ランチを食べに出かけます(現在、育児休暇中にて、ランチタイムもお休み中)。会社の近く、八丁堀駅と茅場町駅の間に、「いとう」という和食のお店があります。70代の大将が、築地で仕入れたお魚をお刺身や焼き物などにして出してくれる、本気で美味しいお店です。

「お勘定！」「ごちそうさま！」席を立った人のお盆を私はちらりと見ます。素敵な紳士のお盆を見て「あー、残念。」と思うこともあれば、冴えないサラリーマンのお盆を見て、「お、やるな！私が見くびってました。」と思うこともあります。正確には、お盆というよりも、お茶碗を見えています。お茶碗にご飯粒がついているか、ぴかぴかなのか。そう、私は、お茶碗にご飯粒が残っていることが「気になる派」なのです。

「お茶碗にご飯粒を残さないように食べる、そんなの当たり前だろ？」ええ、ええ、私もそう思いたいですよ。でもね、ちよつと周りの人を観察してみてください。年配の方でも、信心されている方でも、つぶつぶし

「教師研修会」を開催

去る二月十七日(火)神奈川教会において、午後1時から教師会を開催、午後二時から東京センター所長に就任された大木光雄師(結城教会長)を講師に「教師研修会」を開催、所長としての思いや東京センターの願いについて講話を伺い、その後懇談した。

(十二教会より十二名が出席)

講話では、まず教団の現状にふれ、現在教団が非常に厳しい状況に置かれ、分岐点にきていることは、承知のとおりである。今まで教務経験がなく、東京センターの長として6か月御用にあたってはいるが、東京センターの役割は、他の教務センターとは違い、布教センターという役割をもち、日本の首都に存在することから、教政教務の執行を東京センターが代わって行っているところがある。教務総長に代わって交際者と懇談をもって、どうということが宗教界で大切なかを聞かせてもらおう等、教団が進めることを代わって行っている。

今、教団が抱えている問題や課題をどのように考えるか、これからの本教が世界の人達をどのように救済していくか、ということの分岐点がきているのではないか。現在全教で教会数が1540であるが、二十年后には、全教で教会が500になると思う。首都圏にいくつ教会が残るかが、教団の今後を占う大きな事柄になるのではないか。なぜ、このようになってきたのか、私見で

あるが、教祖様が説かれた信心は人間が神様とともに生きて助かっていく、生き方を整えていく、人間が生きる物語であった気がする。その物語が、これまでの教団の歴史を振り返ってみると、教祖様が説かれた信心の現代化というか、組み替えをした時期が4つほどある。教祖様が語られた大きな信心の物語が当時の時代背景を伴って、組み替えを行っているように思うが、考えなくしてはならないことは、何を変化させて何を変えないでいくのか、ということをどのような基準で図ったのか、ということが大きな問題だと考える。変えられるもの、変えられないもの、その基準をどこに持つか、今の教団、教政教務に問われている。落としてきたものをもう一度拾い直して、組み替えていくことが必要である。

今この時代にきて、教会布教が低迷し、教団が危機的状況になっており、教団の財も激減して大変な状況である。取次をしていくプログラムの作成が願われる。

なぜこのような状況に本教がなったのか、金光教だけの組織の問題だけではなく、社会の問題であり、共同体が崩壊したということである。教会も共同体であるが、世代を超えて人が集まり、生きる規範や生きる指針、それを信心としてきちっと伝えられる、そういう教会の場、それをもう一度作り直していかないといけないのではないかと語られた。

(南 清孝)

ていらっしやる方が結構いるのです。なぜそんなのか、私が想像できることは、戦後、高度成長期と、食料で困らなかつたのか、はたまた、しつてくたさる大人がいなかつたのか、もう面倒くさくなつてしまつたのか、ということぐらいです。

私は、ご飯は、ご神米に通ずるものとして、一粒も残してはいけなないと育てられました。裕福ではなかつたからかもしれない(笑)。娘にも、ご飯粒を残さない大人になつてほしいと願っています。でも、ただ、「残さずいただきなさい」と言つても、難しいですよね。娘に具体的に教えるにあたり、自分がどうやって食べているか意識してみました。

ご飯をいただきながら、手前に手前に寄せ、常にひとまとまりにしておくのです。おしくらまんじゅうのようにご飯粒同士がくっついてる状態にして、お茶碗の中でひとりぼっちのご飯粒を作らないようにします。ひとりぼっちのご飯粒が、食事の最後の頃には、つぶつぶの残留組になつてしまうのです。これは洋食で平皿にご飯が乗つているときも、炊飯器も同じです。

ご飯をいただくことができる体、お米を買えるお金。食事を作ってくれる人、お米を育ててくれる人。そして、神様が与えてくださる天候とお土地……。やっばり、私は「気になる派」です。あなたはどちらですか？



平成 27 年度

天地金乃神大祭日程

| 教会名 | 日 程 |
|--------|-----------------|
| 甲府教会 | 4月19日(日) 13時30分 |
| 南甲府教会 | 開教一二〇年祭 |
| 鎌倉教会 | 4月20日(月) 11時 |
| 登戸教会 | 4月26日(日) 13時30分 |
| 横浜西教会 | 4月26日(日) 13時30分 |
| 藤沢教会 | 4月29日(祝) 11時 |
| 大明教会 | 4月29日(祝) 13時30分 |
| 横須賀教会 | 5月3日(祝) 13時30分 |
| 子安教会 | 5月3日(祝) 13時30分 |
| 丸子教会 | 5月3日(祝) 13時 |
| 相模原教会 | 5月3日(祝) 14時 |
| 生麦教会 | 5月5日(祝) 13時 |
| 平塚教会 | 5月9日(土) 13時 |
| 鶴見教会 | 5月11日(月) 13時 |
| 大磯教会 | 5月14日(木) 13時 |
| 野毛教会 | 5月16日(土) 13時30分 |
| 小田原教会 | 5月23日(土) 14時 |
| 武蔵小杉教会 | 5月24日(日) 11時 |
| 神奈川教会 | 5月30日(土) 11時30分 |
| 津久井教会 | 未定 開教一二〇年祭 |

☆神奈川山梨教会連合会の

これから行事のお知らせ

○教師信徒共励会

- ① 7月11日(土) 神奈川教会
- ② 9月12日(土) 甲府教会
- ③ 日程未定 小田原教会

○みんなのつどい②さくらんぼ祭り

日時 6月6日(土)
会場 南アルプス市の農園を予定

○地域交流会

日時 6月10日(水)
会場 小田原城址公園・小田原教会

○女性のつどい

日時 7月3日(金) 13時
会場 横須賀教会

○みんなのつどい③ボーリング集会

日時 8月29日(土)
会場 横浜市内のボーリング場を予定

○講話と夕食の会

日時 12月5日(土)
会場 神奈川教会

○他、各収集活動を随時行っています。

※各行事の詳細につきましては、順次各教会宛にご案内を送付します。

〈 な が れ 〉

『すべての出入口』

藤沢教会 吉田文枝

30年前、歯科衛生士学校の入学前に小倉先生の桂先生よりお言葉を頂きました。「大変大切なお仕事です。口はすべての出入口です。口は健康を作る第一歩目の器官です。しっかりと勉強なさって下さい。」と。

当時、軽い気持ちで技術を身に付けておけば仕事に困らないかなとの思いで進路選択でした。その後、一年一年経験を重ねる度に、桂先生の言葉の意味を理解していききました。

お口の中には、様々な形の歯があり、舌には味覚があり、食べる楽しみが作られています。しかし、そこに唾液がなく、味覚は感じられず、口の中は傷だらけになり、ウイルス感染の予防も唾液は重要です。また、お口は発語や感情表現にフル活用され、人生を豊かにしてくれます。健康の出入口です。なので神様に感謝する気持ちで、歯のメンテナンスを行って下さい。そして整ったお口で信心話を広げて下さい。教会へ笑顔をお届けして下さい。

4月4日は歯周病の日。6月4日は虫歯予防デーです。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行 者 福 田 光 一

〒 221-0057 横浜市神奈川区青木町六一二十五 金光教神奈川教会内